



きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの

## 学ぼう防災

(32)

勤労感謝の日

いろいろな仕事が

## 街を支えてるよ



家族で話し合ってみよう



私たちには何ができるんだろう?

災害時は助け合うことが大切だよ

イラスト・本郷由紀子

みんな守ろう

みんなトモダチ

みんな将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

## この日 何の日

◇24日(月) 和食の日

和食文化の継承<sup>けいしゅう</sup>を目的に一般社団法人和食文化国民会議<sup>せいてい</sup>が制定。日付は「いい(11)に(2)ほんしょ(4)く」の語呂合わせ。和食は2013年に国連教育科学文化機関(ユネスコ)<sup>いさん</sup>無形文化遺産に登録されました。

毎週日曜発行

2025 11/23

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

今日は、働く人々の勤労に感謝する「勤労感謝の日」です。今回は、私たちの職場である仙台市危機管理局の仕事や役割について紹介します。地震や津波、大雨など自然災害はもちろん、テロや感染症など市民の皆さん命や暮らしを脅かす「あらゆる危機」から守るために日頃から準備し、実際に危機が起きたときに対応するの私たちの仕事です。

特に重要なのは、危機が起きる前の「備え」です。大きな災害が起きても被害が少なくなるように、都市全体の防災計画を考えたり見直したりしています。避難所が混雑しないように対策を考えたり、災害時に支援が必要な方々の避難計画作りを手伝つたりもします。

それから、地域で自主的に防災活動をする「自主防災組織」や、地域の主防災組織」や、地域の防災リーダーを育てるための研修を行い、皆さんの「自助・共助の力」を強めるサポートをしていきます。災害時に市役所全体会がスムーズに動けるための訓練も行い、本番で力を發揮できるよう、普段から準備しています。

が発生したら、危機管理局が司令塔となつて動きなぎ、地震などの危機災害の規模が大きいと数日間家に帰れないことや遠くの被災地へ応援に行くこともあるので、水や食料と着替えは多めに自分のロッカーに準備しています。

街や人々の安全や暮らしを守っているのは、市役所や消防署だけではありません。電気やガス、水道を支える方々や、食

べ物を作つたり運んだりする仕事のおかげで、私たちには便利な生活を送っています。

きっと皆さんの家族も災害に強い街を支える大切な仕事をする一人です。今日は家族の仕事が街や人々の生活や暮らしにどのように役立つてみましょう。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

## みんなが街を支えている

## 勤労感謝の日

きょうの紙面

2面 ニコ☆プチ

3面 3分チャレンジ

4・5面 わが校わがまち スクール通信

6面 キホンがわかる こども英語

7面 投稿特集

8面 Let's try 防災クッキング